



©2017 TRIGGER. 宮城廉「リトルウィッチアカデミア」制作委員会

Little Witch Academia

ルーナノヴァ魔法学校
—入学案内—



イントロダクション Introduction

2013年3月、文化庁による若手アニメーター育成事業「アニメミライ2013」の参加作品として公開された「リトルウィッチアカデミア」。

TRIGGER制作、吉成曜監督によるオリジナル短編アニメーションは、日本のみならず、世界にも魔法をかけてみせた。

YOUTUBEに一話まるごとUPしたところ作品を見たファンからの続編を望む声があり、

クラウドファンディングサイト・Kick-starterで参加を呼びかけたところ、

目標金額15万ドルを開始わずか6時間で達成。

1ヶ月で目標金額の4倍となる総額62万5518ドル(約7400万円)を集め新作の製作が決定する。

さらに2015年7月、北米最大のアニメコンベンション・アニメエキスポ2015にて日本での上映に先がけて世界最速プレミアが行われると、

会場を埋める4000人の観客から同イベント史上初となるスタンディングオベーションが沸き起こった続編

「リトルウィッチアカデミア 魔法仕掛けのパレード」が同年10月9日より2週間限定で上映された。

そして今回待望の新シリーズ、そしてアニメーションスタジオTRIGGERの最新作である

「リトルウィッチアカデミア」のTVアニメシリーズの製作が決定した。

新しく紡ぎだされる「リトルウィッチアカデミア」の世界を乞うご期待!!

TVアニメ
『リトルウィッチアカデミア』
1月8日より放送スタート!

TOKYO MX …… 1月8日より毎週日曜日24:00～

BS11 …… 1月8日より毎週日曜日24:30～

関西テレビ放送(KTV) …… 1月8日より毎週日曜日25:55～

Netflix …… 1月9日より毎週月曜配信開始

インタビュー・ Interview

ある意味、アッコを演じる
ことは自分と向き合うこと
なんだと思いました——

—「リトルウィッチアカデミア」は「アニメミライ2013」参加作品と、その後、クラウドファンディングで協力者を募り制作した劇場公開作品「リトルウィッチアカデミア 魔法仕掛けのパレード」の2作品ありましたが、この作品の魅力はどこにあると思いますか？

潘 まず「懐かしさ」というのがあります。子供の頃に見ていたアニメーションというか、夢や希望にあふれていて、大人になってから見ても色褪せない作品ってあるのかなと思います。今、朝に「ピーターパンの冒険」（89年作品）というアニメが再放送されているんですけど、手描きアニメで、「リトルウィッチアカデミア」のようによく動くし、ドキドキワクワクが毎週続くんです。そういう作品が持っている温かさに似ているなって思います。しかも主人公のピーターパンを日高のり子さんが演じていて、

「少年役デビューだった」と現場でお聞きしたときは、驚きましたね（笑）。

—何か思い出はありますか？

潘 13年の作品は、30分なので猛スピードで駆け抜けていくような気がしていたんです。でも「魔法仕掛けのパレード」は、ディテールがもっと足さされていて、明るくて猪突猛進だったアッコの表情が陰る瞬間もあったんです。悩みとか影の部分がある人なんだよ、みたいなものがあるって、しかもその人間性が、ダイアナによって引き出されていたんですよ。だから、そのときに話したキャラクターによって未来が変わっていく感じがしました。あとは、みんなの協力があってパレードができるという話だったので、一人で何でもできる気になっていたけど、実はたくさんの支えがあってできるんだよと、クラウドファンディングごと教えてもらった作品だったと思います。

—そして今回のTVシリーズですが、どんな感じで聞いたのですか？

潘 映画が完成し、打ち上げも終わり、しばらくしてからですかね、実現に向けて頑張っていますよって話を聞いたのは、その都度その都度、この作品は大事に育てていきたいと作り手の皆さんから話をいただいていたので、TVアニメになったらいいなと思っていました。でも、TVアニメ化決定を知ったのは「宇宙パトロールルル子」の最終回だったんですよ（笑）。

—それ、みんなと同じですね（笑）。

潘 「ルル子」にスーシィが出るとは村瀬さんから聞いていて、8話も見ていたんですけど、最終回でルル子とアッコがバトンタッチして、その予告で初めてTVアニメ化を知ったので凄くびっくりしました（笑）。リアルタイムで見ていたので、本当に視聴者のみなさんと同じですよ。でも共演者の皆さんも湧いていましたよ。

—意外な事実です。そのアッコに関してですが、「魔法仕掛けのパレード」でいろいろなアッコを演じた上で、またロッテとスーシィに出会う前に戻って演じるというのは難しくなかったですか？

潘 大変でした…。TVシリーズはTVシリーズで始めてくださいと事前にお話をいただいていたんですが、テンション感と共に、2人に出会う前に気持ちをリセットするのが意外と難しく。それまでは「アッコってどんなキャラクターですか？」と聞かれても、

「私自身です！」ドヤーって感じで（笑）、誰よりもわかってたつもりなんですけど、リセットされたことでどう演じたらいいんだろうと壁にぶち当たってしまって…。アッコの陰の部分って、TVシリーズの一話でも描かれているんですけど、誰にでもコミュニケーションが取れるようで、実は引っ込み思案…そういう繊細さを演じるのに苦労してしまっただけなんです。

—あらためて演じると、迷いが出るというか。

潘 でもそれって自分に似ていた部分なんです。私ってすごくおしゃべりだけど、本当は引っ込み思案で、緊張しいで、ドキドキしながらお話ししているところがあるんです。そんな私の部分を、一話のアッコが持っていて…。その一話を経てなんですけど、二話のアフレコ前に吉成さんとプロデューサーの堤さんに、一話は苦戦させてしまって申し訳なかったです。実は今回のアッコはこういう描き方をしたいんですと説明されたんです。難しく考えることなく、一作目二作目を経て、その中の潘さんのことが反映されているんです。アッコの中に潘さんの性格も入っているんですよ。だから普段話しているテンション感があってもいいし、そのままの潘さんでいいんですと言われたとき、ツルツとむけたというか、わからないところが解消されたアッコが二話に投影されていると思います。

—そんなこと言われたら泣きますね（笑）。

潘 もう二話収録前に泣きそうになりました（笑）。舞台挨拶とかでもお二人と一緒するときがありました。



DRAGONLONDON
STATION



吉成監督は全力でぶつかったぶんだけ
ちゃんと作品で答えを返してくれる監督です——

たし、カフェに行ったりもしたので、そこから潘めぐみの一部分をアッコとして書いてくれたのかなって思いました。

—そのまま演じれば正解になる感じだったんですね。

潘 でも、自分ほどわからないものはないというか。わかったつもりでいても、周りからもらう自分の人格というか、この人といるとき私こんな表情するんだ、とかがあるし。だからある意味、アッコを演じることは自分と向き合うことなんだと思いました。あと、ちょうど悩んでいた時期だったんですけど、そのときに必要な言葉をアッコが言ってくれることはありましたね。「諦めないんだから」とか。だから、まだ演じてる最中ですけど、ここが私のターニングポイントになって感じがしてなりません（笑）。

—吉成監督ってどんな方ですか？

潘 監督の言葉は音響監督を通して私たちに届いているので、直接お話しする機会は合間合間の短い時間だったりするんですけど、すごく人のことを見ているし、作品のことをすごく考えていて、キャラクターのことを本当に愛している方なんだなって思います。スタジオではガラスを隔てているんですけど、言わんとしていること、愛情、作りたいものはわかるんです。言葉では語れないけど、ちゃんと作品で答えをくれる監督ですよ。全力でぶつかったぶんだけ、それ以上の作品で返してくれる。だから常に超えたものを出していけたらなって、すごく掻き立てられるんです。

アッコ・カガリ役

潘めぐみ

アッコを演じる潘めぐみさんに、アッコを演じるときの思いから、登場キャラクターの魅力、さらには美術や音楽に至るまで、

「リトルウィッチアカデミア」の魅力をたっぷり語っていただきました。

インタビューからも、この作品が本当に大好きなんだという想いがひしひしと伝わってきました。

インタビュー・ Interview



キャラクターへの
アプローチがていねいで
本当にそこにいる
感覚があります——



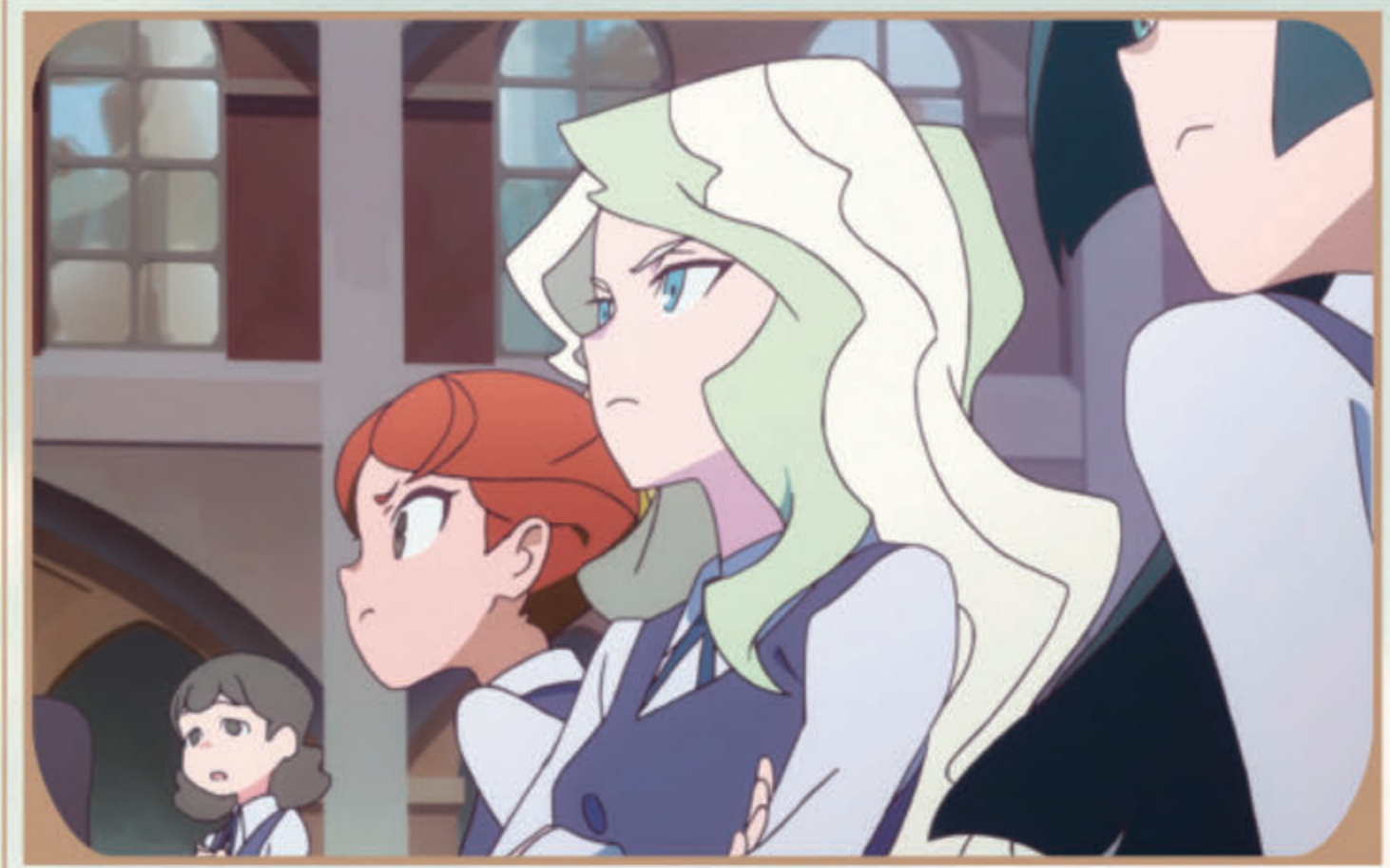
——この作品はキャラクターの魅力がすごくあると思っ
ているのですが、その魅力を教えていただけま
すか？ まずは人の話を聞かないアッコから。
潘 話は聞いてないし、自分が信じたもの、なりた
いものへの信念が揺るがないですね。それって誰
もが過去に置いてきたことかもしれないって。小
さい頃は夢を持ってると、出会いとかいろいろな
ことで夢だったものになってしまったりする。でも

アッコは諦めずに目指し続けるんですね。
——今は周りを気にし過ぎてしまうご時世だから、
なかなか好きなものを好きと言えない時代ですよ
ね。
潘 そうですね。だからアッコの反対がダイアナな
んだと思います。たぶん今もシャリオに憧れている
けど、言えない立場とプライドがあるというか。
——ロッテやスーシはいかがでしょう？

潘 ロッテは優しいし、見守っているポジションで
は変わらずあるんですけど、これは違うとか、こう思
う！とか、ロッテの言葉で伝えてくれるので、アッコ
にはない考え方を与えてくれますね。ロッテにも好
きで譲れないものがあって、でもアッコと違うのは、
それになりたいのではなく、応援していきたいって
いう女の子なんです。そういうところからも学ぶも
のがあります。スーシは、ひとりでアッコに何かを
教えてくれるキャラクターですね。それが優しさか
らなのか興味からなのかわからなくて。いろんな可
能性を秘めていますよね。あと、きのこが好きなん
だな〜っていうのはよくわかりました(笑)。

——アーシュラ先生はどうですか？

潘 アーシュラ先生とシャイニィシャリオは、見て
いる側からしたらイコールだとわかっているんですけ



日高のり子さんは憧れている大先輩で
私にとってもシャリオみたいな存在です——

ど、その過程は想像できないですね。どうして
アーシュラ先生として、そこにいるのか。あとは、ふ
と思ひ悩んだ表情をするのがすごく気になります。
だからアッコって、アーシュラ先生にとっても突き動
かす何かを秘めてる女の子なんだなって気がしま
す。シャリオに憧れていたダイアナや、ハンナやパー
バラも面白い描かれ方をするので、実はここここ
がつながっているんだとかがわかって、どんどん面
白くならないかと思っます。あとアンドリューという男の子
が出てくるんですけど、そこでの変化も魔法みたい
な変化なので、新たなキャラクターも気になるところ
です。いろんな先生も出てくるし、みんなが主役で
すね、この物語は。

——日高のり子さんとの共演はいかがでした？

潘 憧れている大先輩ですし、私にとってもシャ
リオみたいな存在です。うまくいなくて落ち込んで
るときに「大丈夫よ！」って言ってくれるんです。そ
れは理屈ではない「大丈夫よ」で、本当に大丈夫に
なれる魔法の言葉なんです。これまでいろいろな
作品に携わってきたことを教えてくれて、こうした方
がいいんじゃないかって言ってくれますし、この食べ
物いいわよとか、日常のためになることもたくさん教
えてくれる。先生のような、母のような先輩ですね。

——作画もすごいですよね

潘 本当によく動きますよね。質感とか温度、空気
も感じるようなタッチなんです。魔法ショーだって、
本当に野外ステージにいる感覚になっちゃう。あと
触ったときの感触とか、ものに力をかけるときも力
点を感じる作画なんです。口も縦横前後に動いて、
しゃべっているまま動くんですよ！ ここはお芝居
と作画のおつかり合いというか、次はどうしてやろ

かみたいな勝負をしている感覚はあります(笑)。こ
うして見ましたが、どうでしょう!? って。
——躍動感がありますよね。そこがイキイキして
る感じにつながっている。
潘 そうですね。キャラクターによってまばたきの速
さも違うし、歩く速度、歩き方も違う。ひとりひとりへ
のアプローチがすごくていねいで、本当にそこに
いる感覚がありますね。

——あとは美術ですね。

潘 ドキドキしますよね！ 書き込みが実写のよう
で。一度 TRIGGER さんに見学に行ったときに背景
を見せていただいたんですけど、手描きなんです
よ。絵の具ひとつひとつで影を作ったり、立体感、距
離感を出したりして、その温かさに安心しまし
た。



——本当に作画だけ見ても映画のような
クオリティですよ。

潘 劇場で見ても見劣りはしないでしょうね。しか
も音楽が大島ミチルさんで、音楽もいいんですよ！
聴いたらこのアニメだと誰もが思うテーマ曲が、
劇場版から引き継がれているんです。やっぱりオー
ケストラはすごいですね。厚みがグッと増します。そ
れとオープニング曲とエンディング曲もいいです！
「魔法仕掛けのパレード」から引き続き大原ゆい子
さんが歌っていて、今回はエンディングなんですけ
ど、「星を辿れば」は、笑ったこと、泣いたことを思い
出しながら寝て朝を迎えられる。そして次の物語が
始まるまでの架け橋になるような曲ですね。
YURiKA さんの「Shiny Ray」は、物語の始まり、爽
快感とワクワク感、それにスピード感のある曲です。
——では最後に、楽しみにしているファンにメッ
セージを。

潘 一話一話のドラマの中に、忘れかけていたもの
を思い出させてくれる。いいことも悪いことも全部
ひっくるめて、あって良かったと思える作品です。本
当に小さい子からおじいちゃんおばあちゃんに渡る
まで、共感していただけたらと思います。笑ったこと、
怒ったこと、悲しかったこと、いろんなことに意味が
あるんだって思える瞬間がすごくあるので、いつ
もそばに置いてもらえる作品になればいいなと思
いますし、一話一話大切にみていただけたら嬉しいで
す。応援よろしくお願いします。

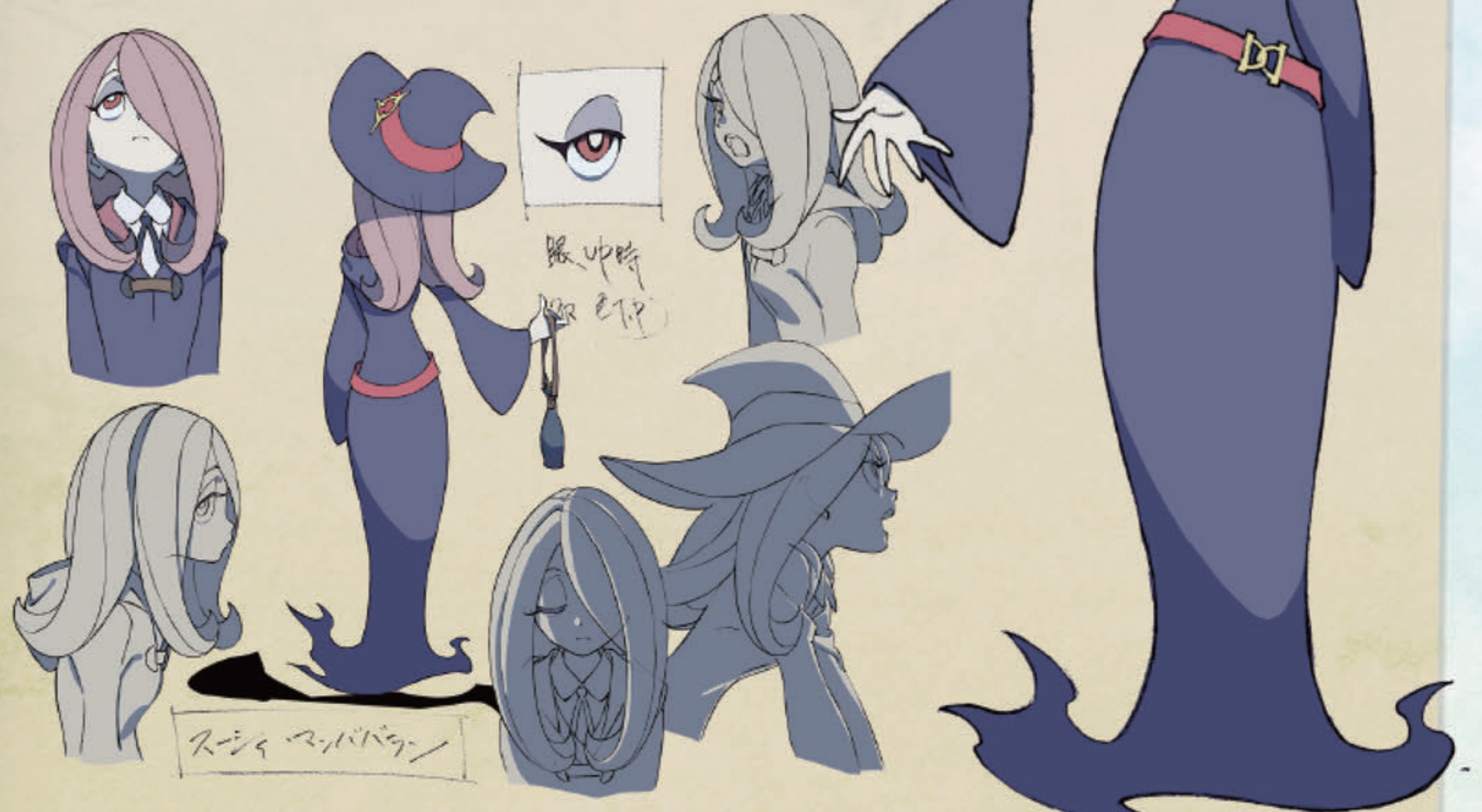
キャラクター Character

キャラクター

✦ 各キャストへの質問項目 ✦

- ①TVアニメ化すると聞いたときの心境は？
- ②「リトルウィッチアカデミア」の見どころは？
- ③ファンの方にメッセージをお願いします！

Sucy



Diana



スージー・マンババラン

CV: 村瀬迪与

①感謝の気持ちでいっぱいになりました。映画化もTVアニメ化も実現したのは、応援して下さった方たちのおかげです。でも、このご時世、何が起きるか分からないので浮かれないようにしようと思いました。公式発表されたとき、ホッとしました☆

②トリガーのアニメーション。素晴らしい脚本。アッコとダイアナの関係。ロッテと眼鏡の向こう側。ハンナとバーバラ劇場。ヤスミンカのポテンシャル。コンツェとりえしょん。アマンダの男前。先生たちの秘密。スージーとキノコ☆ そして、シャリオの謎が…!?

③アニメミライの2013年版から、2015年にクラウドファンディングで映画化、そしてついに2017年TVアニメ化です！ この軌跡とっても奇跡…なんちゃって。私は毎回ニタニタしながら台本を読んでいます。ご期待ください☆ 応援して下さった皆様に作品を通して恩返しできるように頑張ります☆



Profile

マウスプロモーション所属。2月28日生まれ。
主なアニメ出演作品は
「かみさまみらいのヒミツのこたまり」
「ガイストクラッシャー」「毎日かあさん」など。

ダイアナ・キャベンディッシュ

CV: 日笠陽子

①映画の一本目はアニメミライの中の1作品という位置付けであったので、国内外のファンの方からの熱い応援のおかげで、続編が製作できた事自体が魔法のような奇跡でした。そして、奇跡は何度でも起きるのだと思いました！ まさかTVシリーズでまたアッコやダイアナに会えるなんて！ リトルウィッチらしい素敵な必然で、とても嬉しかったです。

②映画では、アッコとロッテとスージーの3人が、仲の良いところからスタートしていましたが、TVシリーズでは出会いから丁寧に描かれます。さらに新キャラもたくさん登場したり、キャラクターが一人一人掘り下げられるので、魅力がより増して行くと思います。こんな一面があったのか！という発見をしてもらえたら嬉しいです。

③皆さんのおかげで、今度はTVシリーズでお会いすることができます！ 本当にありがとうございます。TVシリーズという大きな箱庭の中で、アッコ達がどのように成長していくのか、どんな冒険があるのか、心がときめく瞬間がきつとたくさんあります！ 皆さんへの感謝の気持ちを込めて、愛を込めて、丁寧に作品に臨んでいますので、放送を楽しみに待っていて下さいね。



Profile

アイムエンタープライズ所属。7月16日生まれ。
主なアニメ出演作品は
「けいおん」「NEW GAME!」
「ベルセルク」「WWW.WORKING!!」
「ろんぐらいだあす!」など。

キャラクター Character

アマンダ・オニール

CV:志田有彩



Profile
アクセント所属。10月3日生まれ。
主なアニメ出演作品は「劇場版NARUTO:
THE LAST NARUTO THE MOVIE」
「逆転ARC-V」など。

①やった!!待ってました!! あんなに素敵な世界のお話がTVで毎週見れるようになってっちゃんって最高!!って思いました(笑)。実際に劇場版を収録していたときも、スタジオの皆でシリーズになってほしいねえと話していたので、その通りになって本当に嬉しかったです。

②見どころは…あれもこれも沢山ありすぎて迷ってしまうくらいなのですが、毎回毎回心に残る台詞がいろんなところに散りばめられています。小さな子から大人まで、まるっと引き込まれること間違いなしです!

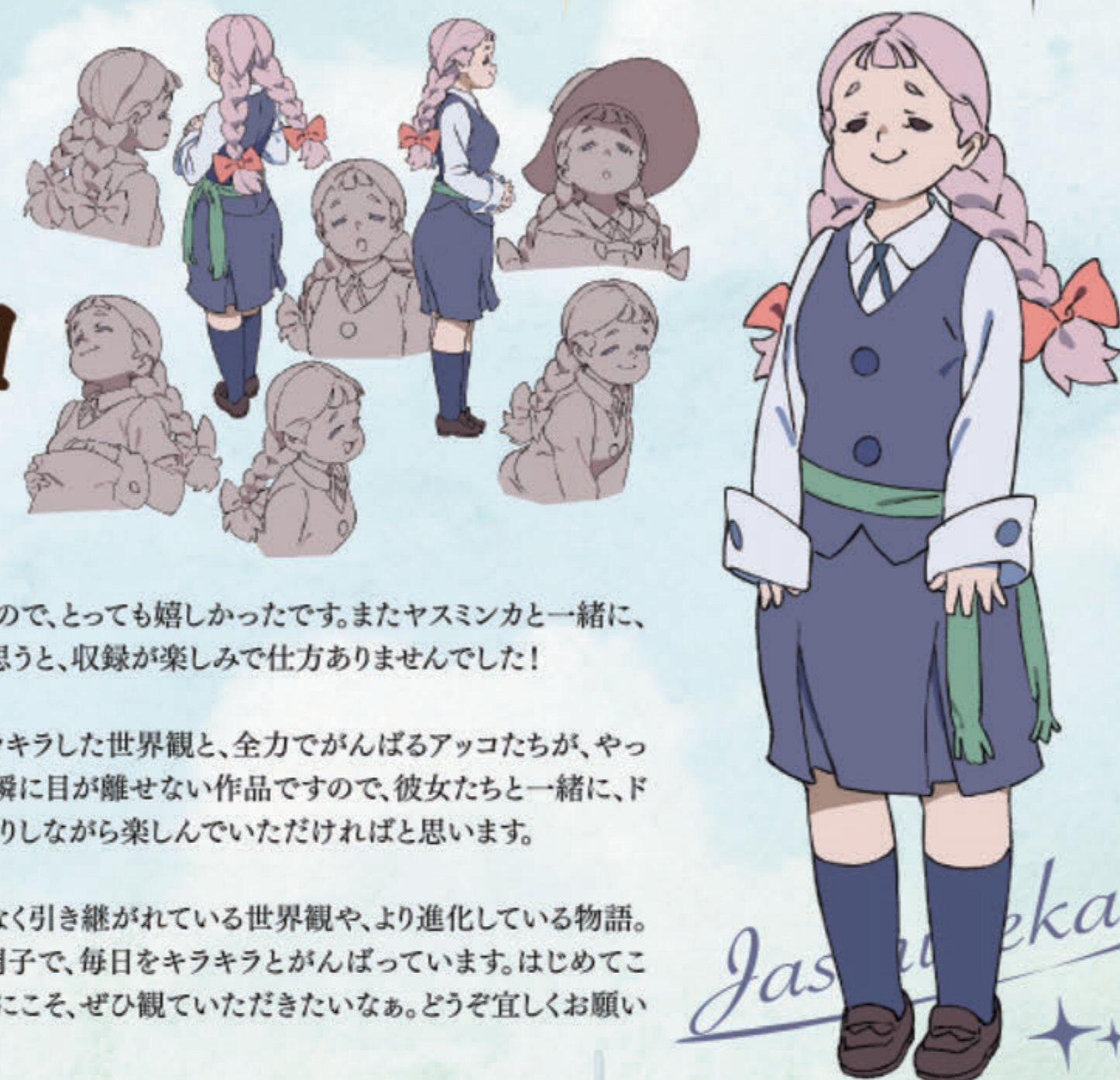
③初めましての方も、お久しぶりの方もこんにちは!! ついに「リトルウィッチアカデミア」スタートです!! 私も本当に楽しみです! ワクワクとドキドキを皆さんにお届けできるように頑張ります。よろしくお祈りします!!

✦各キャストへの質問項目✦

- ①TVアニメ化すると聞いたときの心境は?
- ②「リトルウィッチアカデミア」の見どころは?
- ③ファンの方にメッセージをお願いします!

ヤスミンカ・アントネンコ

CV:上田麗奈



Profile
81produce所属。1月17日生まれ。
主なアニメ出演作品は
「ハナヤマタ」「ばくおん!!」
「南鎌倉高校女子自転車部」など。

①大好きな作品でしたので、とっても嬉しかったです。またヤスミンカと一緒に、アッコたちに会える!と思うと、収録が楽しみで仕方ありませんでした!

②底抜けに明るくてキラキラした世界観と、全力でがんばるアッコたちが、やっぱり魅力的! 一瞬一瞬に目が離せない作品ですので、彼女たちと一緒に、ドキドキしたりワクワクしたりしながら楽しんでいただければと思います。

③映画から変わることなく引き継がれている世界観や、より進化している物語。アッコたちもいつもの調子で、毎日をキラキラとがんばっています。はじめてこの作品をご覧になる方にこそ、ぜひ観ていただきたいなあ。どうぞ宜しくお願い致します!

コンスタンツェ・アマーリエ・フォン・ブラウンシュバンク ニアルブレヒツベルガー

CV:村川梨衣



Profile
俳協所属。6月1日生まれ。
主なアニメ出演作品は「えとたま」
「エスカロナーのアトリエ
〜貴族の空の錬金術士〜」など。

①「リトルウィッチアカデミア」に参加させていただいたのは映画の第2弾のときが初めてで、参加させていただいたことがとても嬉しくて幸せだな~と思っていたらTVアニメ化ということで…! めちゃくちゃ嬉しかったです!!

②私の演じるコンスタンツェちゃんなのですが、劇場版をご覧いただいた皆様はご存知かと思いますが、なんと…あまり…喋りません!!!!!! 寡黙な子なん~で!す!が!!!!!! なんとついに…今回…コンスが…!!

③劇場版から応援して下さっている皆様はもちろん、TVシリーズからという皆様にもお楽しみいただけるような、丁寧なストーリー展開になっております! アッコたちの成長や友情、そして熱いバトルなどなど楽しみにしてくださいね!

シャイニイ シャリオ/ アーシュラ先生

CV:日高のり子



Profile
コンビネーション所属。5月31日生まれ。
主なアニメ出演作品は「クッチ」
「とりのトロ」「トッパをわらえ」
「ふしぎの海のナディア」など。

①とても嬉しかったのに、TVシリーズだなんて奇跡だと思いました。

②ほんわかしているようで熱い! いろいろな要素が含まれているところ。

③頑張るアッコを応援してください! そしてアーシュラ先生のおとぼけぶりもお楽しみに♡

バックグラウンド アート
Background Art



▲アルクトウルスの森



▲ほうきの停留所



▼プライトンベリーの町中



▼ルーナノヴァ魔法学校寄宿舎

▼プライトンベリーの駅前



▲ルーナノヴァ魔法学校の校長室

TVアニメ『リトルウィッチアカデミア』
オープニング&エンディングテーマ



OP **YURiKA**
「Shiny Ray」

アニメ盤 特典内容 付属のDVDにはノンクレジットオープニングムービーを収録。オープニングの絵コンテブックレット付き。
2枚組(CD+DVD) ¥1,600+税 仕様:アニメ描き下ろしジャケット・ジュエルケース

アーティスト盤 特典内容 付属のDVDには「Shiny Ray」のミュージックビデオを収録。フォトブック付き
2枚組(CD+DVD) ¥1,600+税 仕様:アーティスト撮り下ろしジャケット・ジュエルケース
【通常盤】¥1,200+税 ※仕様・内容は変更になる場合がございます。



ED **大原ゆい子**
「星を辿れば」

アニメ盤 特典内容 付属のDVDにはノンクレジットエンディングムービーを収録。エンディングの絵コンテブックレット付き。
2枚組(CD+DVD) ¥1,600+税 仕様:アニメ描き下ろしジャケット・ジュエルケース

アーティスト盤 特典内容 付属のDVDには「星を辿れば」のミュージックビデオを収録。フォトブック付き
2枚組(CD+DVD) ¥1,600+税 仕様:アーティスト撮り下ろしジャケット・ジュエルケース
【通常盤】¥1,200+税 ※仕様・内容は変更になる場合がございます。

『リトルウィッチアカデミア 魔法仕掛けのパレード』
Blu-ray & DVD Blu-ray豪華版
DVD通常盤



『リトルウィッチアカデミア 魔法仕掛けのパレード』
Blu-ray豪華版 ¥7,870+税

封入特典 ・特製オリジナルサウンドトラックCD(作曲:大島ミチル)
・キャラクター設定、ラフ集、美術、原画などが満載のアートブック(100ページ) ・リーフレット

【収録内容】『リトルウィッチアカデミア』・本編(26分)・メイキング(66分) 『リトルウィッチアカデミア 魔法仕掛けのパレード』・本編(56分)・メイキング(46分) ・特報、予告、TVスポット
カラー/2層(BD50GB)/本編26分・56分/MPEG-4 AVC/1080p High Definition/2013年・2015年 【音声】日本語 5.1ch dis-HD Master Audio・日本語 2.0ch リニアPCM/16:9ワイドスクリーン
【字幕】日本語/英語/中国語/ドイツ語/スペイン語/フランス語/イタリア語



『リトルウィッチアカデミア 魔法仕掛けのパレード』
DVD通常盤 ¥4,800+税

【封入特典】・リーフレット 【収録内容】『リトルウィッチアカデミア』・本編(26分)・メイキング(66分) 『リトルウィッチアカデミア 魔法仕掛けのパレード』・本編(56分)・メイキング(46分) ・特報、予告、TVスポット
カラー/片面2層/本編26分・56分/2013年・2015年 【音声】日本語ドルビーデジタル 5.1ch・日本語ドルビーデジタル 2.0ch /16:9LB 【字幕】日本語/英語/中国語/ドイツ語/スペイン語/フランス語/イタリア語

Staff

原作:TRIGGER/吉成曜
監督・キャラクター原案:吉成曜
シリーズ構成:島田満
メインキャラクター:半田修平
美術監督:野村正信
色彩設計:垣田由紀子
撮影監督:奥村大輔、萬直樹
メインアニメーター:堀剛史
デザインワークス:芳垣祐介
編集:坪根健太郎
音楽:大島ミチル
音響監督:渡辺淳
音響効果:川田清貴
制作:TRIGGE

Cast

アッコ・カガリ:潘めぐみ
ロッチ・ヤンソン:折笠富美子
スーシィ・マンバラン:村瀬迪与
ダイアナ・キャベンディッシュ:日笠陽子
アマンダ・オニール:志田有彩
コンスタンツェ・アマリエ・フォン・ブラウンシュバンク
=アルプレヒツベルガー:村川梨衣
ヤスミンカ・アントネンコ:上田麗奈
シャイニィシャリオ:日高のり子

